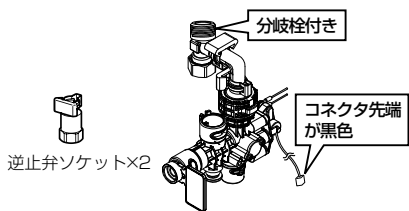


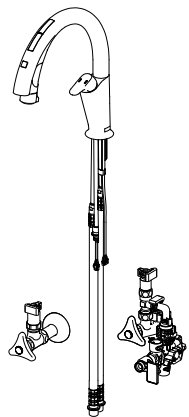
6. はみ出す場合は、ナットを少し緩めて吐水口がシンク内に収まるように水栓本体を回転させ、位置調整する。
7. ナットを増し締めし、水栓本体をしっかりと固定する。
8. 正面シールと、水栓取付角度調整シール(右(左)側に取り付ける場合)をはがす。

逆止弁ソケット・浄水バルブと止水栓の接続

③で使用する部材



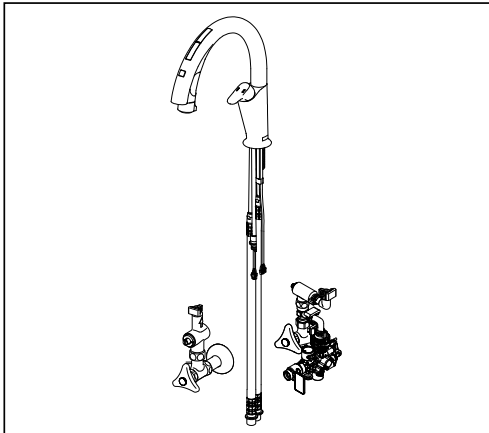
③終了時の施工状態



寒冷地仕様の場合



寒冷地仕様の場合



注意

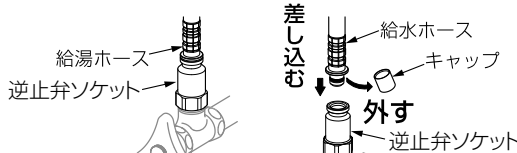
ホースの先端が固定軸の中にかくれた状態でナットを締め付けてください。
※ホースが専用工具に絡まり、破損する恐れがあります。

馬蹄金具
固定軸
ホースの先端
ナット
専用工具
KG-1またはKG-2
※図はKG-2

4

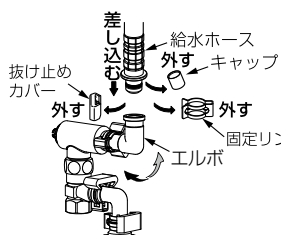
給水・給湯ホースと逆止弁ソケットの接続

1. 給水・給湯ホースを逆止弁ソケットに差し込む。



寒冷地仕様の場合

●給水ホースが差し込みにくい場合には、エルボを傾けて差し込んでください。

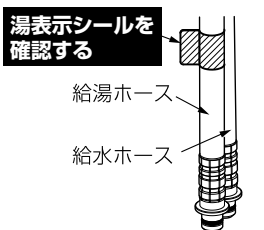


注意

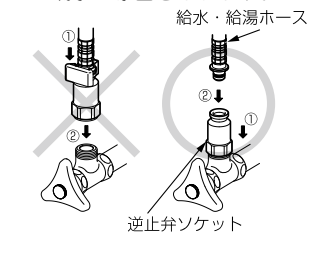
Oリングに傷をつけたり
ゴミかみがないよう注意
してください。
※漏水の原因となります。

注意

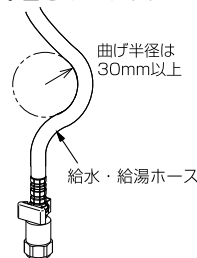
●給水・給湯ホースの差し間違えに注意してください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。



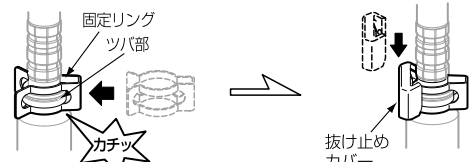
●必ず逆止弁ソケットを止水栓に固定してから給水・給湯ホースを接続してください。
※漏水の原因となります。



●ホースを曲げる場合は、曲げ半径30mm以上確保してください。
※漏水の原因となります。



2. 固定リングと抜け止めカバーをはめ込む。



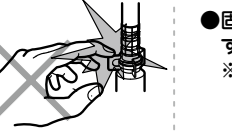
確認

給水・給湯ホースを上
に引き、外れないこと。



注意

●抜け止めカバーをはめ忘れないようにしてください。
※リングに触れるとケガをする恐れがあります。



●固定リングをはめ損ねないよう、必ずしっかりとめ込んでください。
※外れると漏水の原因となります。



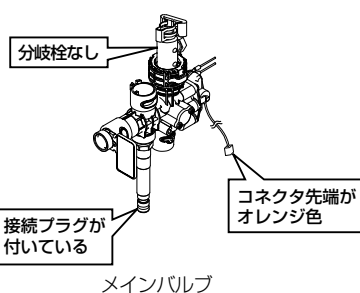
キッチンくるりと接続の場合

キッチンくるりと接続の場合は、キッチンくるりん (KS-800)に同梱の取付設置説明書に従い、水栓本体に接続してください。

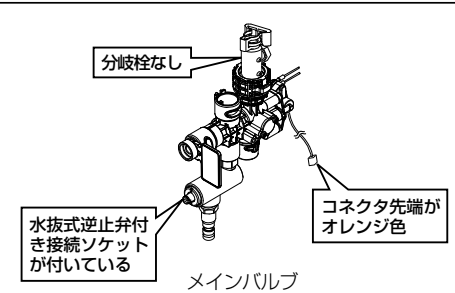
5

ホースとメインバルブの接続

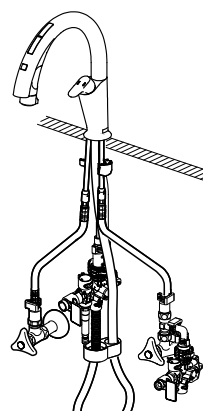
⑤で使用する部材



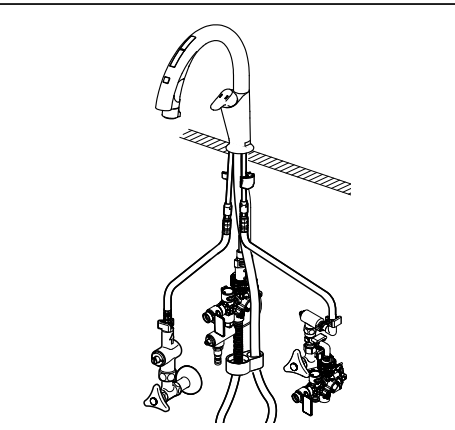
寒冷地仕様の場合



⑤終了時の施工状態

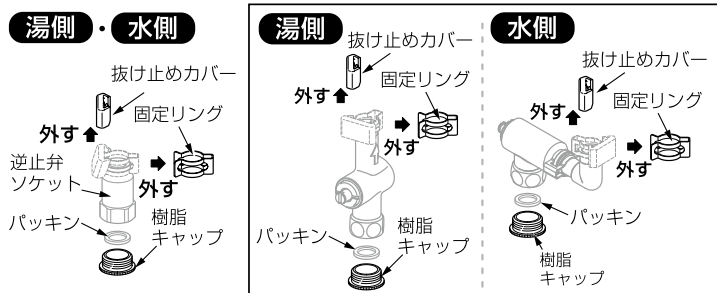


寒冷地仕様の場合



1. 抜け止めカバー・固定リング・樹脂キャップを外す。

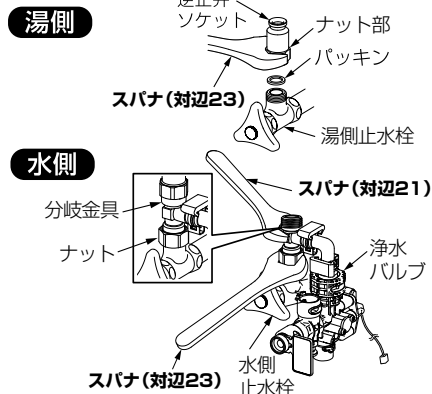
寒冷地仕様の場合



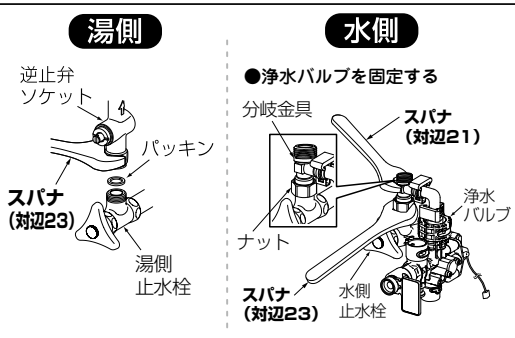
注意

パッキンの紛失に注意してください。
※漏水の原因になります。

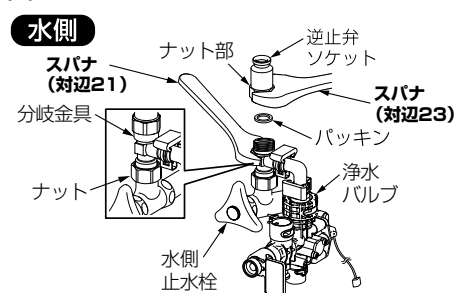
2. 逆止弁ソケットを湯側止水栓に、浄水バルブを水側止水栓にスパナ(対辺23)で固定する。



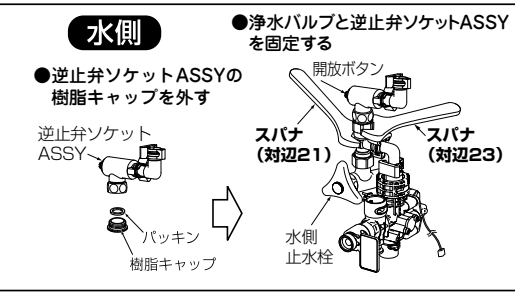
寒冷地仕様の場合



3. 浄水バルブと逆止弁ソケットを固定する。

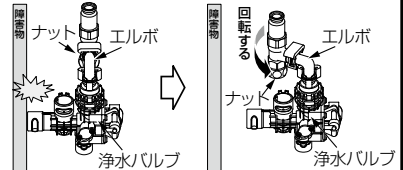


寒冷地仕様の場合



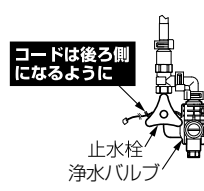
ポイント

浄水バルブが障害物と干渉してしまう場合には、ナットの上についているエルボの向きを壁側に回転させた後、ナットを固定して干渉を回避する。



注意

●右図のように、浄水バルブは必ず止水栓の右側に取り付け、コードが出ていない部分を後ろに向けてください。
※発火、ショート、感電、故障の原因になります。



●(寒冷地仕様の場合)逆止弁ソケットASSYの開放ボタンは操作できる向きに施工してください。
※開放ボタンが操作できないと、水抜きができなくなり、漏水の原因になります。



2. ホースについているタグをはずし、ハンドシャワーを吐水口部に収納する。

ポイント

ホースが抜けて入れにくい場合は、ホースを押しながら回転させる。

